

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-4
障がい者の自立支援

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

障がい福祉課長 長岡 秀樹

電話番号

0852-22-6256

事務事業の名称	障がい者手当等給付事業	
目的	(1) 対象	障がい者、障がいのある児童を監護・養育する者
	(2) 意図	手当を給付することにより経済的負担軽減を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的負担の軽減を図るため、在宅の重度障がい者や障がいのある児童を監護・養育する者に対して手当を支給する。 ・障がい者及び家族の将来の不安を軽減するため、加入している障がい者や保護者に年金等を支給する。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	特別児童扶養手当の申請件数	目標値	210.0	210.0	210.0	210.0	件
			取組目標値					
	式・定義	特別児童扶養手当の申請件数	実績値	221.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	189,110	197,871
うち一般財源 (千円)	38,461	39,467

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない。
---------------------	--------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成27年度の特別児童扶養手当新規申請受理件数は、221件

6. 成果があったこと (改善されたこと)

申請に基づき、受給資格の有無について、適切に判定業務を行っている。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

特になし

②困っている状況が発生している「原因」

特になし

③原因を解消するための「課題」

特になし

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

引き続き、適正に判定業務を行っている。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)